

(世界史プリント8-9)

第17章 戦後世界と東西対立 1.戦後世界の出発と冷戦の開始

d.東南アジア諸国の独立

①インド→ 1947[](ヒンドゥー教徒中心)[1](イスラム教国)に分裂して独立
=[2]首相

②フィリピン→アメリカの復帰、抗日ゲリラの中心[3]団を弾圧
→ 1946 アメリカの支援を受けた大地主ら対日協力派を中心に独立承認
以後、アメリカ追随政策をとり続ける(→ 51 米比相互防衛条約)

③オランダ領東インド諸島… 1939 インドネシア政治連盟結成=言論中心
インドネシア国民党([4]ら),インドネシア共産党、サレカット=イスラム
↓
日本軍の黙認のもとに独立の準備を進める→ 1945.8.18 インドネシア共和国の独立宣言
[5]を中心に独立を認めない[6]とたたかい、49年独立達成

④ビルマ(ミャンマー)
1944 反ファシスト解放同盟結成→[7]将軍のもと反日武装闘争を展開
1947 暗殺される→ 1948 独立達成
1962年以降、(ネ=ウインのもと独特の社会主義がつづく ~ 1988)

⑤ヴェトナム [8]らヴェトナム独立同盟結成([9])対日戦を闘う
→ 1945.9 [10]の独立を宣言

これを認めない[11]との間で[12]戦争発生 1946 ~ 54
(1)仏… 1949 [13]をたて[14]を発足=弱体

(2)1954 [15]の戦いでフランス大敗
→ 1954 [16]協定で停戦
北緯[17]度を休戦ライン、南部は国民投票実施

d. 朝鮮戦争とアジアの冷戦

①[18]年8月15日 日本の敗北=「解放記念日」(p321)
建国準備委員会結成→朝鮮人民共和国樹立を決定

② 1943 連合軍の[19]会議で戦後の独立を決定
↓
日本の敗北と同時に[20]・[21]が朝鮮に進出
→[22]度線で分割占領を決定
→国連を通しての解決を図る→冷戦の激化で米ソの対立激化→解決困難に

③南部 アメリカの占領に=かなりの混乱つづく

[23]を大統領とする独裁政権を樹立→[24]成立(1948)
北部 ソ連の間接支配=朝鮮指導者間の主導権争いつづく
[25]が主導権を獲得、[26]独立宣言(1948)

④[27]年6月[28]勃発
[29]軍主体の国連軍の介入←→[30]義勇軍の参戦
↓
北緯38度線付近で膠着= 1953 [31]休戦協定成立→南北の分裂の固定化

⑤アメリカ=[32]成立、朝鮮戦争により危機感の拡大
→東アジアを含む世界的規模での反共体制構築に([]政策を世界展開)
[33]への援助の強化=中国敵視政策

⑥日本の反共化の促進…警察予備隊発足(のちの[34])、レッドパージの実施
1951 [35]条約締結=米陣営とのみ講和(片面講和)

あわせて[36]条約締結

⑦軍事同盟の締結
1951 米比相互防衛条約(1951)
[37](ANZUS) 米・オーストラリア・ニュージーランド(1951 ~)
東南アジア条約機構[38]… AUZUS + 英仏+フィリピン、タイ、パキスタン(1954 ~ 77)
[39](METO) …英・トルコ・イラク・パキスタン・イラン(1955 ~ 59)
→[40](CENTO) …[41]脱退(1959 ~ 79)
北大西洋条約機構(NATO)(1949 ~)、米州機構(OAS)(1948 ~)
(←→ワルシャワ条約機構(1955 ~ 1991)、中ソ友好同盟相互援助条約(1950 ~ 80))